

福祉だより（令和5年下半期）

田麦野地域社会福祉協議会

※この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金で発行しております。

ご挨拶

会長 東海林千八子

惜春の候 皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、田麦野地域社会福祉協議会諸事業につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度は、コロナ感染症法も2類から5類に移行し、新型コロナウイルス禍に伴う行動制限が緩和され事業計画も予定とおりに実施することが出来ました。

令和5年度下半期の事業活動を「広報誌」に取りまとめましたので、ご一読下さい。

活 動 状 況

1 いきいきサロン(かさまつ大学)

65歳以上の高齢者を対象に、毎年かさまつ大学開講 下期は3回の講座を実施することが出来ました。

(1) 日帰り研修温泉の旅 11月17日(金) 大江町テレメ柏陵健康温泉館



部外研修として、大江町の健康温泉館を利用し日頃の疲れを心身とも癒し美味しい食事をとりながら、有意義な時間を過ごしました。

(2)ふれあい講座:12月12日(火)ハッピーマジック



「武内幸一氏を招き、「ハッピーマジック」を開催 参加型のマジックまるでマジシャンになった気分で、会場大笑いのマジックショー 中には種明かしを紹介したりと時間を忘れ楽しいひとときを過ごしました。

(3)ふれあい講座:2月6日(火)昭和の歌謡曲と踊り(天童もみじ会)



恒例の天童市もみじ会を招き、昭和の名曲ということもあり会場は歌と踊りに酔いしれるなど、更には口ずさんだり、笑ったりとあっという間の楽しい時間を過ごすことができました。

2 地域カフェ(スリッパ卓球すみれ会)



会場を「さとやま」に移し、元気に一球一打に楽しく和気あいあいと活動され休憩時間にはお茶菓子を食べながら笑いが絶えないようでした。会員同士の絆も深まり今では、地区外から活動状況を見学されるなど会員の仲間が増えること期待したいものです。

3 琥珀3B(3B 体操)



いろんなジャンルの音楽に合わせて用具を使いながら身体を動かし、いい汗を流しております。交流会や全国大会を目指し猛練習中で、転倒・寝たきり・認知機能改善にも役立つとういことで、参加してみたいはかがですか。

4 バルーンアートづくり 10月27日(金)交流施設「さとやま」



三宅さんを講師に招き、風船を利用してのバルーンアートづくり伸ばしたりねじったりと割れはしないかとひやひやしながらのづくりでしたが、講師の指導のもと各自思いの作品が完成しました。

5 男の料理教室 2月25(日)交流施設「ぽんぽこ」



社会福祉協議会主催 男の料理教室(9名参加)が久しぶりに開催され、3班に別れ手際良く豚汁・ステーキ・サラダを完成させ美味しい食事をとりながら談笑に酔いしれました。次回また宜しくお願いします。今度はどんな献立かな楽しみです！

6 一人暮らしの高齢者及び要援護世帯宅訪問

毎年12月に民生員及び福祉推進委員とともに、今困っていること、悩んでいることないか、一人暮らしの高齢者、要援護世帯宅を訪問し現状把握に努め、今後の対応などお互い意見交換を実施した。訪問宅6世帯

7 一人暮らし世帯の除雪支援

一人暮らし世帯の除雪支援に本年度も自治会の役員等の協力を頂き実施することが出来ました。例年がない暖冬が続き積雪も少なく除雪支援回数も少なかったようでした。また、1月13日(土)例年とおり天童市福祉協議会からの除雪ボランティア活動の計画がありましたが、積雪が少なく除雪する代わりに創学館高校の生徒さんらに交流施設「ぽんぽこ」及び田麦野地域の概要等を説明した。

除雪世帯:7世帯 除雪日数延べ28日 除雪時間延べ23時間

8 募金等の報告

令和5年度(後期分)皆様から寄せられた善意に、心より感謝申し上げます。

区分	世帯戸数	募金額	金額
赤い羽根共同募金	69	450円	31,050円
歳末助け合い募金	69	300円	20,700円